

代表質問

11月定例市議会では、六会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

ゆうあいクラブ

中区役所の開設準備は

問 中区はまったく新たな場所とスタッフでの区役所運営となり、周到な準備が必要だがどのように取り組むのか。

答 スムーズに業務が開始できるように、研修やリハールを入念に行うことはもちろん、新たなサービス提供窓口ができることを区民に認識してもらうことが非常に重要だ。

中区の区役所は開設の周知を図るため、一部の業務について、平成21年4月1日の区役所開設前から利用できるよう準備を進めていく。

省エネルギービジョン

の策定

問 省エネルギービジョンの策定に関して、本市の基本的

な考え方と今後の予定は。

答 市民・事業者等へのアンケートや、地域のエネルギー消費動向等に関する調査結果を基に、現在岡山市地域省エネルギービジョン策定委員会で審議している。今後パブリックコメントや関係機関等からの意見を踏まえて、平成20年度末までに本市のビジョンを策定する方針だ。

成果については、21年度以降実施を予定している市有施設へのE S C O事業導入の可能性調査や、新・地球温暖化地域推進計画、新・環境基本計画の策定に生かしていく。

多彩なイベントで

緑化フェアの魅力向上

問 全国都市緑化おかやまフェアでは、どのようなイベントが開催されるのか。

答 華道家として有名な假谷崎省吾氏の作品展示とトークNHK「趣味の園芸」フェアの実施、メンバーの一人が岡

山市出身の「心花」のコンサートのほか、世界初の「青いバラ」の展示や岡山県出身の作家重森三玲氏の作品紹介



完成した「花と緑のテーマ館」
～緑化フェア西大寺会場～

等を主催事業として行う。

また、県内各市町村の協力により、郷土芸能の披露なども実施する。

農業振興ビジョン

重点施策とスケジュール

問 本年度取りまとめる岡山

市農業振興ビジョンの①重点施策選定理由は②どのようなスケジュールで取り組むのか。

答 本市の農業は水田営農が中心であること、中小規模農家が多いこと、果物等の都市イメージが確立されていることなどの特徴や、農家戸数や耕地面積の減少、食の安全安心への関心の高まりなどの課題を踏まえ、重点施策を選定している。

これらは早急に取り組む必要があり、農業振興ビジョンに沿って来年度から取り組んでいく考えだ。

教員免許更新制開始による

講師不足対策

問 教員免許更新制が始まれば、教諭だけでなく講師も対象になり、極端な講師不足が予想されるがその対策は。

答 講師や非常勤講師については、他の市町村教育委員会と連携してリストを作成するなどの取り組みを行う。

また、ホームページ等を活用して免許更新制の周知を図り、より多くの免許所有者に更新講習の受講を促すなどの広報活動を積極的に行って、必要人員の確保に努めたい。

市民ネット

平和資料館の建設を

問 平和資料館の建設は市民の願いだ。今後の計画は。

答 戦争を知らない世代が七割を超えた現在、若い人々に戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐことが大切だ。

本市でも、戦没者追悼式や岡山戦災の記録と写真展など平和に関する施策を行っている。

厳しい財政状況ではあるが、資料館の規模・展示内容・体制などをさまざまな角度から総合的に検討したい。

御津地区産業廃棄物処分場

建設計画

問 御津地区の産業廃棄物処分場の許可申請は不許可とするべきでは。

答 御津地区に計画中の産業廃棄物処分場については、廃棄物処理法にかかる許可申請を平成20年11月11日に受理し、現在審査中だ。

地元住民の思いや市議会の